

LK メッシュに関する特長及び施術に関する注意点

本製品の特徴

- ① 整形の人工靭帯の補強材を加工した製品である為、生体に対する毒性は無く、生体内劣化も長時間見られません。
- ② 素材はポリエステルで伸縮性があり、収縮時で5cm伸張時は最大13cmまで伸張します。
- ③ メッシュ自体を保護フィルムで覆う事により術中感染を予防します。
※ 保護フィルムには中心に切り取り線が入っており取り外しが容易になっています。
- ④ **本製品は未滅菌の為、必ずEOG滅菌行ってから使用してください。**

ティールシュ法に関する基本点

※施術前に感染予防の為、ドレープと手袋の交換をして下さい。

- ① 基本体位は腹臥ジャックナイフ体位を推奨
1)推奨理由としては腹圧をかけさせ直腸を十分に脱出させることが可能なため。
※ ただし、患者の年齢や体型等を考慮して碎石位での施術も可能
- ② メッシュの挿入前に皮下浸潤麻酔を注入
1)スペースの無い肛門前方の皮下、女性では直腸肛門と膣の間に十分スペースを取るように注射する必要がある。
- ③ メッシュ挿入するために、肛門縁より2.5cm外側で正中をずらして、背側腹側の1時、7時の2箇所を切開する。
※ 括約筋の外側に通すため肛門縁よりずらして切開する。
※ 正中をずらしたのは、特に女性患者だと膣損傷を避ける為。
- 4 切開創の深さは**肛門管上部(深外括約筋)もしくは肛門挙筋直下の高さでなるべく深い位置にメッシュを通します。**
- ⑤ メッシュを結ぶ時に8-Fブジー(2cm)を挿入する。(もしくは5mlシリンジ等)
※ 適切な強さで結ぶようにする処置です。
- ⑥ 結び目に更にナイロン糸で固定します。
- ⑦ 結び目を皮膚切開部よりずらし皮下に完全に埋没した後に皮膚を縫合する。
※ 結び目をずらす事により脱出を防止する。
- ⑧ 手術終了後は感染予防のためセフィム系抗生剤を術後3日間予防的に投与する。

備考 ビデオでは接着剤(ダ-ポ-ント)を使用していましたが、ナイロン糸でしっかり固定すれば、必要ございません。また、熱メスで糸を切っておりましたが無ければ剪刀で切って頂いても問題ありません。